

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	平成30年9月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年11月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・地域の行事に参加したり、戸外で季節の行事に触れたり、定期的に他施設や近隣の保育園とも積極的に交流している。また、ボランティアによるお話の会を毎月開催する等して、地域との交流を大切にしている。
- ・法人の祭りや敬老会・クリスマス会などのイベントに多くのボランティアに参加して頂き交流を図っている。
- ・気持ちの良い言葉での声かけ・笑顔・笑い声のある心地良い環境作りを心掛けている。自分の身内・家族のように接することで、我が家にいるような気持ちになって楽しく過ごして頂けるようにアットホームな生活環境作りを大事にしたい。
- ・研修会等に参加し、情報収集に努めサービスの質の向上に取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの運営母体である協力医療機関とは、24時間医療連携体制による定期受診や緊急時の対応を含め密接な協力関係を築いており、本人・家族の安心に繋がっている。また、二三和祭りや隣接のシニアマンションとの合同イベント、合同職員研修などで、法人内の協力関係を築いている。
- ・自治会に加入し地域の一員として新年会や清掃活動・ほぜ祭り等の地域行事に参加し、2ヶ月に1回の保育園児の慰問やお話会ボランティアの受け入れ・ホームの避難訓練時の住民の参加協力など、地域との相互交流を積極的に行っている。
- ・近隣のグループホーム間で、相互の運営推進会議参加や利用者を含めた交流を実施し、同業者間の交流や情報交換等を継続しサービスの質の向上に努めている。
- ・資格取得の支援や研修受講により職員の質向上を図っている。調理担当職員の配置による業務の負担軽減や休暇取得などの職場環境整備に努めており、無理なく外出支援等にも取り組める職員体制となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づいた仕事ができるよう毎朝理念を唱え、理念を意識しながら日々のケアにあたり努力している。	理念は、職員・利用者・家族が確認できるように玄関やトイレに掲示し、毎朝、理念を唱和している。ミーティングや勉強会で振り返りを行い、職員全員で共有した実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し地域の行事に参加している。また、保育園や他のグループホーム等との交流も積極的に行っている。	自治会に加入し地域行事の新年会や奉仕作業・十五夜・ほぜ祭り等に地域の一員として参加している。保育園児の訪問・ボランティアのお話会・クリスマス会・避難訓練時に住民参加があり、積極的に地域と交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議における民生委員や町内代表の出席により理解してもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議時、事業所の報告を行い、出席者より意見・質問・要望等を受け、ミーティングで検討しながら、サービスの向上に努めている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を、近隣グループホーム職員や住民の参加も得て開催している。ホームから事業所の状況や行事等を報告し、ヒヤリハットを含めた状況を参加者から意見ももらい、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議や毎月の報告書等届ける際に実情を伝えたり、地域包括支援センターに相談しながら協力関係を築くよう努めている。	市の担当者とは、運営推進会議での意見交換や窓口で毎月出向いたり、電話で報告や相談を行い連携を図っている。市の研修会には必ず参加し、情報収集等に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設け、定期的に会議を行い、勉強会にて身体拘束を理解し、普段より拘束はしないケアをしよう意識し、身体拘束は行っていない。玄関は施錠せず、センサーにて見守りを行っている。	指針を作成し、3ヶ月に1回委員会を実施している。ミーティング時に、不穏時の見守り等について検討し、拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、外出する利用者には声掛けや付き添っての散歩で対応し、職員の見守りで制限のない生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について年1回勉強会を行い、虐待のないケアを実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について勉強会を行って、必要に応じて活用できるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や改定時必ず、同意を得られるように個別に説明を行い、同意書を取っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にアンケート・苦情相談ポストを設けている。また、行事や面会時に利用者・家族の意見を把握するようにしている。	利用者には入居時の情報や日頃の会話で意見や要望を把握している。家族とは、新年会・花見・敬老会等で食事をしながらゆっくり話す機会を得ている。誕生会等の行事参加や面会時に要望等を聞いて、出された要望等に対応している。日頃から話ができるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングを利用したり、個人面談にて意見や提案を聞き、反映させている。	理事・管理者はミーティングで職員の提案等を聞く機会を設けている。日常の業務の中でも意見や提案を聞く場があり、個々のケアの変更や備品要求などが多く出され、検討して反映している。朝の申し送り時や個別にも聞いており、年2回の個人面談も実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人用目標シートや出来る職員の行動シートを用いて、やりがい・向上心を持てるように6月と11月に個人面談を行い、職員の要望を把握するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体の研修会や外部からの研修案内を活かし、できるだけ職員がいろんな研修に参加できるように努めている。必ず年1回は外部の研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとの交流会を定期的に行い、お互いに情報交換や相談などを行い、質の向上に努めている。また、地域密着型介護事業所の管理者会議にも出席し、ネットワーク作りにも努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と会話しながら、不安に思っている事や要望などを聞いている。また、できるだけ家族にも声かけを多くし情報を得るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に声かけをするようにし、家族が困っている事、不安な事、要望等を聞き関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族より情報を聞き、必要としている支援を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声かけ見守りをしながら掃除や洗濯物たたみ・茶碗洗い・お膳拭き・野菜の下ごしらえ・シーツ交換など入居者の能力に合わせ、一緒にして頂きながら関係作りを築いている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族に現状を報告し、本人と家族の意見を尊重し、家族が気軽に訪問でき、入居者と居心地の良い時間を過ごせるような雰囲気作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人が訪問して頂ける様、気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。</p>	<p>面会の機会を設け、知人・友人の面会がある。家族との外食や墓参り・美容院に出かけている。母の日は家族と一緒に過ごせるように働きかけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>トラブルにならないように常に席の配置を考慮している。雰囲気大切にしながらスタッフが間に入り、楽しい会話ができるように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院先に状態を見に行ったり、相談員や家族に連絡して状態把握しながら支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族や本人との会話や行動から、思いや意向の把握に努めている。	暮らしの中で本人の思いや希望を把握するように努めており、職員は利用者の担当を決めて、職員からの情報もある。意思表示が困難な場合は入居前の情報を参考にしたり、家族と話し合い、本人主体で支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シート、暮らしの情報シート、在宅時の担当ケアマネ・主治医からの情報提供書等を活用し把握に努めている。また、面会時にも声かけし情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の状態を職員全体が把握し、申し送りを確実にする様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向などを尋ねながら、主治医・薬剤師・OT・PT・スタッフの意見を聞きながら介護計画を作成している。	家族の都合に合わせて担当者会議を実施し、本人・家族の要望等を基に職員と検討して介護計画を作成している。ミーティング時に毎月モニタリングを行い、3ヶ月に1回評価をまとめ、計画見直しを年1回及び状況変化時に実施している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送り時のカンファレンスや申し送りノート・ミーティング・個別記録等を活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の状況に応じて出来ない事はスタッフが支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>保育園やお話の会、夏祭り、花見、地域行事の十五夜やほぜ祭りに参加できるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院にはスタッフが同伴し、他の医療機関には必要に応じて家族とスタッフで対応し、適切な医療が受けられるように支援している。また、必要に応じて、病院の相談員を介して相談も行っている。</p>	<p>本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医となっている。家族の協力も得て支援している。協力医療機関との24時間医療連携及びホームのが受けられるよう図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事は看護師に伝え、受診したり様子観察で良いか判断したりしている。また、必要に応じて主治医に電話で相談し受診等を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時は状態把握をする為に面会に行ったり、病院関係者より情報を得ている。退院前カンファレンスにも参加し今後についても相談を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や入居途中で重度化した場合等についての考えを尋ねるように努めている。また、担当者会議や状態変化があった時に話し合うようにしている。</p>	<p>入居時に重度化した場合の対応と看取りに関する指針について説明し同意を得ている。状況変化時は家族へ医師から説明している。随時段階ごとに話を重ねながら、本人・家族が納得できるような支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>新しい入社職員にはAEDの使用方法の研修を行っている。また、アクシデント等があった際は全員でミーティングを行い、対応の仕方を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近隣の方にも訓練への参加要請を行い、年2回の消防・避難訓練にも参加して頂きながら実施している。自衛消防組織図を作成し災害時に自分は何が担当か職員全員に周知徹底している。</p>	<p>消防署の指導のもと、年2回の地震・火災避難訓練を夜間想定で実施している。参加住民には避難後の利用者の見守り等を協力してもらっている。掃出し窓がベランダの1ヶ所にある。自動通報装置も設置している。非常用の水・缶詰・レトルト食品等やカセットコンロを備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の取り扱いに関しては職員採用時に契約書を交わし、記録物は他者の目に触れないように保管している。入居者への声かけには親しみの持てる思いやりのある声かけを行っている。</p>	<p>勉強会を実施し、失禁時等は羞恥心に配慮してさりげない声掛けをしたり、本人の希望で夜間は居室の内鍵を掛けている。言葉遣いに注意し、呼名はさん付けや様で呼ぶこともある。一人ひとりを尊重した対応に心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で入居者の好きな事を見つけたり、希望の把握に努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせ、無理なく過ごして頂けるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>出来る方には、入浴後に着る衣服等を自分で準備して頂き、各行事やイベントの際は、家族が準備して下さったおしゃれを着用されるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事やおやつが偏らず食べやすいように工夫している。また、行事食や誕生会食等食事に変化を持たせ食べる楽しみに配慮し提供している。個々の能力を活かし、お盆拭きや茶碗洗い等行って頂いている。	調理担当職員が配置されており、個々に合わせた食事形態で提供している。利用者も下ごしらえやお盆拭きを手伝い、職員も一緒に食事を摂っている。行事食・誕生日食も取り入れている。花見は弁当持参で楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士にアドバイスを頂き、献立表を作っている。食事量は毎日記録している。夏場は熱中症や脱水症にならないように水分量をチェックしながら、必要量が摂れる様に工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけしながら口腔ケアを促し見守り・介助している。口腔内に問題のある方には、歯科医師や歯科衛生士の方に依頼して訪問指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間誘導を行いながら、個々の排泄パターンを把握し、時間に関係なく個々に合わせて実施している。	排泄チェック表を基に食事の前後・表情や体の動きなどを確認し、一人ひとりに応じたトイレでの排泄を取り入れ、排泄の自立支援をしている。便座は背もたれのパットを設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ水分を多く摂って頂くために、いろいろな飲み物をこまめに提供している。便秘予防として運動も行っている。便秘傾向の方には、腹部マッサージやサンファイバーを利用して頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調やタイミングに合わせて無理のないように、週2回の入浴を実施している。	週に2回午前中に入浴を支援している。失禁時等は陰洗やシャワー浴・入浴で対応し、気持ち良く過ごせるようにしている。入浴を拒む利用者には、無理強いせず、言葉を変えたり時間をずらす等工夫し、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中ラジオ体操や歩行訓練を行っている。個々の体調に合わせて昼間にベッド臥床させ休息がとれるようにしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が服薬管理を行い、副作用等の症状観察を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物たたみ・お盆拭き、誕生日会・敬老会・クリスマス会等本人の能力に合わせ手伝っていただいている。また、保育園・ボランティアの方々、他の施設との交流も図っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	希望があればできるだけ近所を散歩したり、ドライブに出かけたりしている。また、家族の方に協力を頂き、外出の機会が多くなるように支援している。	日常的に車椅子の利用者も一緒に近隣を散歩したり外気浴を楽しんでいる。計画を立て、初詣や花見・地域行事・ドライブに出かけたり、受診の際に自宅付近をドライブしている。母の日などに、家族の協力を得て墓参りや外食等で外出できるように支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金の所持が困難な為、個別に家族より預かっている。希望時に一緒に買い物に出かけている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	遠くに住んでいる家族の方からの贈り物が届いた時は、本人自ら電話が出来るように支援している。また、一人での利用が困難な入居者に対して、個別に利用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールに飾り付けをし季節感を取り入れ、冷暖房やカーテンなどをうまく利用している。また、清潔に保ち不快な所がないよう気をつけている。	ホールは、天窓があり明るくエアコンで空調設備が整っている。掃き出し窓からベランダに出て外気浴が楽しめる。対面キッチンからホーム内を見渡せる。壁に行事の写真や年間を通した折り紙作成の伝統行事が掲示してあり、利用者はそれぞれの場所で居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者同士や本人の希望等を考慮して、定期的に席替えを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に保ち、ゆっくり休めるように、また家族との会話を楽しめるように努力している。	居室にはベッドとタンスが置かれている。本人の好みや必要に応じて椅子や衣装ケースを持ち込んだり、手作りの壁飾りや家族写真・時計等で本人が安心して過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、歩行時の手すりを設置。トイレ・洗面所・風呂場がわかるように表示している。テーブルや椅子などは丸みを持たせることにより自立した安全な生活が送れるように工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない